

佐賀県感染症発生動向調査速報

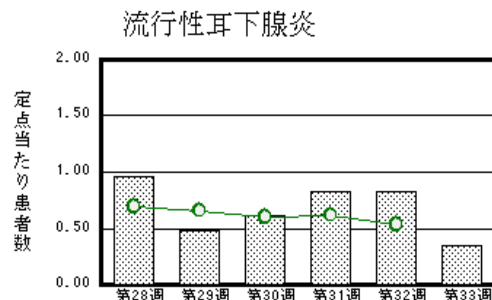
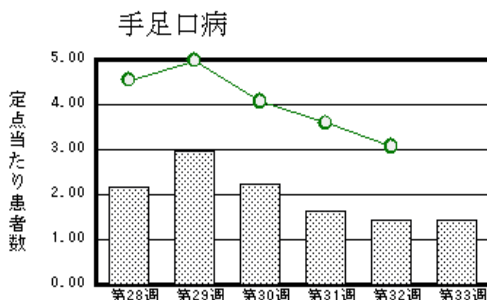
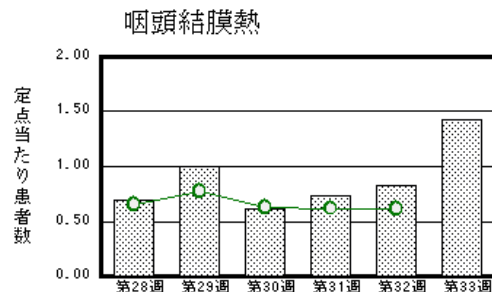
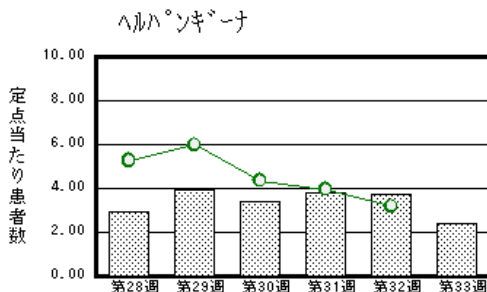
平成15年第33週 平成15年8月11日(月)～平成15年8月17日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 1 【報告数の多い疾患】 ヘルパンギーナ(65名) 咽頭結膜熱(33名) 手足口病(33名) 突発性発疹(25名) 感染性胃腸炎(13名)
- 2 【咽頭結膜熱】前週に引き続き、患者報告数が多くなっています(19名/33名)。特に、伊万里保健所管内(15名)、佐賀中部保健所管内(12名)で多く報告されています。病原体定点から提供された1検体よりアデノウイルス3型が検出されました。うがい、手洗いを心がけ、予防に努めましょう。
- 3 【ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎】患者報告数が減少しました。ヘルパンギーナ(86名/55名) 流行性耳下腺炎(19名/8名)。
- 4 【腸管出血性大腸菌感染症】佐賀中部保健所、杵藤保健所管内でそれぞれ1名(O157)の届出がありました。例年、夏季に発生が多く見られます。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱など一般的な食中毒予防を心がけましょう。



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2003年第31週号 (7月28日～8月3日) 要点

・ 発生動向総覧	<31週> 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は微減したが、過去10年間の同時期と比較して本年16週以降最高の値で推移している / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	<無菌性髄膜炎> 第27週頃より報告数が増加し、第30週で減少したものの第31週にはまた上昇に転じた <咽頭結膜熱> 定点当たり報告数は第30週になり減少し、第31週もわずかに減少した <手足口病> 定点当たり報告数は第25週から急峻な立ち上がりを見せていたが、第30週、31週と減少した
・ 病原体情報	患者から分離・検出された病原体報告 - ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス
・ 速報	A群コクサッキーウイルス10型およびエコーウイルス30型の分離 - 札幌市 / 無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス30型の分離状況 - 奈良県
・ 海外感染症情報	ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 2003年8月14日現在 / ニューヨーク市で腺ペスト患者が発生 - ニューメキシコからの輸入例、2002年 / インドのAndhra Pradesh州での脳炎の流行
・ 感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157)	
患者 (住所地)	3歳男児 (神埼郡)	22歳男性 (福岡市)
無症状病原体保有者	なし	1名 (但し 福岡市届出)
感染原因・感染経路	不明	調査中
平成15年届出累計	14件28名 (今週2件2名)	
平成14年	同 期	38件152名
	届出累計	46件172名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 : (類感染症 (週報分))

平成15年第33週

平成15年8月11日 (月) ~ 平成15年8月17日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第32週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ								15 0.00
小児科 (23)	咽頭結膜熱	12 1.50	2 0.67	2 0.50	15 5.00	2 0.40	33 1.43	19 0.83	1854 0.61
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 0.63	1 0.33	5 1.25	1 0.33		12 0.52	24 1.04	1510 0.50
	感染性胃腸炎		4 1.33				9 1.80	19 0.83	6438 2.12
	水痘	3 0.38	3 1.00	1 0.25			5 1.00	11 0.48	2630 0.87
	手足口病	3 0.38	4 1.33	8 2.00	5 1.67	13 2.60	33 1.43	33 1.43	9309 3.07
	伝染性紅斑			1 0.25			1 0.04	1 0.04	723 0.24
	突発性発疹	9 1.13	3 1.00	10 2.50			3 0.60	25 1.09	2487 0.82
	百日咳								34 0.01
	風疹								54 0.02
	ヘルパンギーナ	14 1.75	7 2.33	7 1.75	2 0.67	25 5.00	55 2.39	86 3.74	9615 3.17
	麻疹 (成人麻疹を除く)								135 0.04
流行性耳下腺炎	3 0.38					5 1.00	8 0.35	19 0.83	1613 0.53
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								27 0.04
	流行性角結膜炎							7 1.75	777 1.23
基幹 (6)	急性脳炎 (日本脳炎を除く)								2 0.00
	細菌性髄膜炎								8 0.02
	無菌性髄膜炎			1 1.00			1 0.17	1 0.17	87 0.18
	マイコプラズマ肺炎							1 0.17	85 0.18
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								3 0.01
	成人麻疹								1 0.00

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :4類感染症)

平成15年第33週 平成15年8月11日(月)~平成15年8月17日(日)

インフルエンザ 定点	インフ ルエン ザ	小児科 定点	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルバ ンギー ナ	麻疹 (成人 麻疹を 除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科-基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	急性脳炎 (日本脳 炎を除く)	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻疹	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				1			2			1			6ヶ月未満									
12ヶ月未満		12ヶ月未満	1			4	5		18			8			12ヶ月未満									
1歳		1歳	2		3	1	9		5			13			1歳									
2歳		2歳	4	2	3	2	7					10		1	2歳									
3歳		3歳	6	3	1		9					7			3歳									
4歳		4歳	9	1	1	1	1					8		3	4歳						1			
5歳		5歳	7	1			2					4		1	5歳									
6歳		6歳		1		1		1				1			6歳									
7歳		7歳		2	2	1						1		2	7歳									
8歳		8歳		1	1							1			8歳									
9歳		9歳	1												9歳									
10歳~14歳		10歳~14歳	3	1		1						1			10歳~14歳									
15歳~19歳		15歳~19歳													15歳~19歳									
20歳~29歳		20歳以上			2									1	20歳~29歳									
30歳~39歳															30歳~39歳									
40歳~49歳															40歳~49歳									
50歳~59歳															50歳~59歳									
60歳~69歳															60歳~69歳									
70歳~79歳															70歳以上									
80歳以上																								
合計		合計	33	12	13	12	33	1	25			55		8	合計						1			
前期計		前期計	19	24	19	11	33	1	34			86		19	前期計		7				1	1		
当期間/前	***	当期間/前	1.74	0.5	0.68	1.09	1	1	0.74	***	***	0.64	***	0.42	当期間/前	***		***	***		1		***	***
増減数		増減数	14	-12	-6	1			-9			-31		-11	増減数		-7				-1			

***は前期計が"0"のとき

